

き私達の活動を理解いただき、入会していただきたいとお願いに参りました。宜しくお願い申し上げます。

卓 話： 「世界理解月間」に因んで R I 第2560地区青少年交換委員 金澤理久夫様



今年度の青少年交換委員を仰せつかっております金澤理久夫です。宜しくお願い致します。

今日は「世界理解月間」に因んで「今年度の国際奉仕委員会の活動について」報告を申し上げます。

今年度は、中條ガバナーの「進んで奉仕、友愛、感謝」をモットーに3つの小委員会が協力して、画期的なロシア訪問を行い、当地区と第5010地区との友情地区締結という大イベントを実施いたしました。この様子につきましては、後刻スライドショーでご覧頂きたいと思います。

国際理解ということは、平たく言うと「今の自分を、狭い加茂とか日本から考えるだけでなく、もっと広く海外の状況、また過去も未来も含めて現在と言う立場から考えてみること」ではないかと思っています。

このロシア訪問は、ガバナーが度々お話をされておりますが、今後大きな発展が予想される第5010地区とその対岸に位置する第2560地区が交流を深める事は、環日本海交流という面からも大きな意味があるという、グローバルな視野から生まれた事業でした。お陰様で当加茂クラブも、カムチャッカのアバチャンスキーRCと友情クラブ締結をすることができました。

1 ロシア訪問の概要

(1) 訪問の目的

今回のロシア訪問の目的は、①第2560地区と第5010地区の友情地区調印を行う。②加茂クラブとアバチャンスキークラブの友情クラブ調印。③第2560地区からアバチャンスキークラブにボイラー設置基金と先住民の青少年に職業訓練を施す基金を贈呈する。ということでした。

(2) 訪問団の編成

当初は、ホテルや航空券の確保などの問題から30名の募集を行いました。各クラブからの参加希望者が多く、編成に苦労しました。結局、中條ガバナーご夫妻、斎藤幹事ご夫妻など38名の大訪問団となりました。

(3) 訪問日程

中條年度の活動が開始された7月、8月はガバナーの日程が大変厳しく、その中を遣り繰って8月15日～19日（4泊5日）に実施となりました。この中でハバロフスクRCでの友情地区調印、日本人墓地お参り、カムチャッカの産業視察、アバチャンスキーRCとの友情クラブ調印式、懇親パーティー、世界遺産のカムチャッカ自然体験など、ハードな日程を消化してきました。

(4) カムチャッカについて

カムチャッカについては、日本の産業界の中に10数年前から「カムチャッカ研究会」というのが出来

ていて、カムチャッカの地勢、資源、産業、人口、文化など多方面の情報が集積されているようです。さすが日本経済界と感心しています。面積は日本の約1.3倍で人口は約32万人、このうちの30万人が州都のペテロパブロスク市に住んでいます。

10月から4月までは雪に覆われ、寒いときは-20℃、雪のない季節は5月から9月の5ヶ月間だけです。

主な産業は漁業で、海産物の多くは日本の釧路港に運ばれるとのこと。次いで観光産業は、これも日本やアメリカからの観光客が多いとのこと。観光期間が短く、カムチャッカの人々は誰もが通年働ける仕事を求めているようでした。

2 その他の国際奉仕委員会の事業

(1) 友情交換委員会

①地区内のクラブと外国のクラブとの交流を支援しています。

②海外のクラブと姉妹クラブを締結しているのは、18クラブ（韓国9，台湾4，国3，イタリア1，香港1）

※今年度海外クラブ訪問を計画中は8クラブ

(2) 世界社会奉仕（WCS）委員会

①カムチャッカ州のアバチャンスキーRCへの支援

青少年研修施設へのボイラー設置費用 \$ 4000

先住民青少年等の職業訓練など実施費 \$ 6000

②クラブ単独で海外クラブ支援は2クラブ

新発田RC＝ペルーの病院へ医療機器贈呈（\$ 17,110）

新潟南RC＝台中南屯RCと身障者のリハビリ施設（\$ 1,600）

(3) 青少年交換委員会

①夏期交換学生（高校生の3週間相互訪問）の実施

日本からドイツへ派遣2名、ドイツから日本へ受け入れ4名

②1年交換学生（高校生の1年間滞在）の実施

日本から5名派遣、5名受け入れ

連携国はドイツ、アメリカ、タイ、ブラジル

③ローテックス（交換学生経験者の組織）結成の準備

(4) 青少年交換や新世代奉仕にかかわる課題

地区に「危機管理委員会」を設置し、虐待やハラスメント予防及び訴訟等に対応する。

以上で私のお話は終わらせていただきます。

第8回理事会

開催月日：平成19年2月6日（火）11：30～12：30

開催場所：三条ロイヤルホテル